

# 広報 わがえ



友や恩師に そして両親にありがとう

2  
2006  
No. 10



## 若狭町初の成人式

三方公民館で「若狭町成人式」開催（1月8日）

合併後初めての成人式となり、式典、懇親会とも三方・上中地域合同で開催されました。該当者210人のうち178人が参加。大人としての意識と自覚の高さを思わせる晴れやかな成人式でした。



新成人を代表して中西基さん（三方）が誓いの言葉を述べました。「成人として自覚と責任はもちろん、日々感謝の心を持って行動していきます」と力強く宣誓しました。

代表して「成人証」と「記念品」を受け取る今井流太さん（佐古）と北川舞さん（三田）。また、成人者の将来の夢や近況などをつづった「記念文集」が発行され、新成人全員に配られました。



3連休の真ん中の日とあって、県外へ出ている新成人も参加しやすく、該当者の85%が参加しました。しかし、この日はあいにくの雪景色。真新しいスーツや、華やかな衣装を気にする姿も見られました。



金城 由香里さん（三田）  
式典を終えて成人になったという実感が少しずつついてきました。三方と上中の合同開催で知らない人も多くとまどいましたが、人数が多くてにぎやかでした。



小堀 将年さん（高岸）  
人数が多くてにぎやかな成人式でした。みんな変わっていました。特に女の子が大人の女性になっていて、すごかったです。

懇親会会場であがいました！ はたちのキモチ

早速できあがった記念写真  
を見入る新成人。記念写真  
は、人数が多いため三方・  
上中の成人者に分かれて撮  
影されました。



式典後、ショッピングセンターレビアで  
開催された懇親会。久しぶりに会った旧  
友との会話が弾みました。



お世話になった恩師もお祝いにつ  
け、思い出話や近況報告で盛り上  
がりました。

## 成人おめでとう



**滝田 恵理さん (麻士坂)**  
無事に20歳を迎えるこ  
とができ、両親に感謝して  
います。私が育ったこの町  
は、帰ってくるととても落  
ち着きます。いつまでもそ  
んな安心させてくれる町  
であってほしいです。



**田辺 沙織さん (海山)**  
今まで海や山や梅林に  
囲まれた生活が日常でし  
た。しかし、家を離れて生  
活を始めてみると、自分の  
育ったふるさとが、とても  
恵まれたところだったこ  
とに気がつきました。



**田辺 かおりさん (倉見)**  
成人になり、選挙権を持  
つなど社会に貢献できる  
よう今一度考え直したい  
と思います。新しい施設な  
どができるようなので楽  
しみです。全国に若狭町を  
もっとPRしてください。



**大久保 悠さん (向笠)**  
成人になりましたが、ま  
だ実感がわきません。今日  
は、大人になったみんなに  
久しぶりに会えて楽し  
かったです。今は、将来の  
夢を模索しています。



**武田 直紀さん (上野木)**  
上中と三方の合同開催  
でしたが、若い人の交流イ  
ベントがないので、交流で  
きて良かったと思います。  
今後は成人者として、い  
ろいろ挑戦していきたいで  
す。



**中村 浩人さん (若王子)**  
僕たちのために、町長さ  
んをはじめ、備い方たちが  
祝福してくださり、ありが  
たいことでした。式辞や祝  
辞などで良いお話しが聞  
けたので、今後の参考にし  
たいと思います。

出会いを豊かなものにし、充実したものとする『あいさつ』を大切に (教育長式辞から)

## 今年も元気よく 走り初め

野木地区新春ジョギング大会(1/1)



今年の元旦は天候に恵まれ、気持ちよくジョギングができました

野木地区で新春ジョギング大会が開かれました。毎年元旦に行われている大会で、今年で16回目。子どもからお年寄りまで地区住民約150人が参加し、初日の出が昇ったあめでさい朝にジョギングを楽しみました。ジョギング後、参加者らはジュースで乾杯し、みかんなどを食べながら新春の喜びを分かち合いました。

## 常神半島へ来てね！

岬小学校児童が手作りパンフレットを作成



三方庁舎玄関に手作りパンフレットを張りに来てくれた浜頭君

観光名所の常神半島へたくさんの方が来てくれるよう、岬小学校3、4年生8人が「常神半島紹介パンフレット」を作成しました。児童らが写真を撮り、パソコンを使って作成した手作りもので、完成したパンフレットを町内の公共施設などに掲示してくれました。

1月6日、三方庁舎に掲示しにきてくれた岬小4年の浜頭享佑君(小川)は「常神半島には、天然記念物のソテツや、海釣り公園などがあってとてもいいところ。たくさんの方に遊びに来てほしいです」と期待を膨らませていました。

## 事故ゼロを目指し祈願

### 若狭町交通安全祈願祭(1/6)

交通安全祈願祭が恵比須神社(末野)で行われ、参加した約30人の関係者は今年1年の交通安全を祈願しました。主催者を代表して若狭交通安全協会上中支部の西野徳三支部長は「事故のないまちづくりを目指し、上中と三方の支部がひとつになって若狭町を守っていきたい」とあいさつしました。

小浜警察署によると、昨年町内で発生した3件の交通死亡事故は、いずれも国道27号線で発生しており、重点的に防止対策をしていくとのことでした。



神前で誓いの言葉を述べる敦賀交通安全協会三方支部の上下支部長



すっかり雪化粧をした恵比須神社の参道。この冬は、12月から日本海側を中心に大雪に見舞われました。



だしを使ったみそ汁作りを体験した「かりん組」の園児



「これバナナ？」なんていう園児もいました。これはかつお節です。

長〜い昆布を広げたらよ

## 家で食べるみそ汁よりおいしいぞ!?

### わかば保育園で食育教室(1/11)

「自分で削った『かつお節』と、『昆布』でだしをとったみそ汁は、家で食べるみそ汁よりおいしい!もっとおかわりちょうだい!」

そんな声が聞こえたのは、わかば保育園で行われた食育教室。健全で豊かな食生活を送る力を育むために、健康課が食育教室を実施しています。幼児期は、味覚や食生活の土台づくりとなる大切な時期であるため、町内全保育所の年長児を対象に開いています。今年度のテーマは“だし”。食材を見たり、聞いたり、触ったりと五感を十分に生かした教室は、子どもたちにとってよい刺激となったようでした。

# 認知症を

## 考えよう

認知症について詳しく知りたい方はご相談ください。

(市外局番 0770)

- 健康課 (TEL2-2503)
- 三方保健センター (TEL5-1563)
- 福祉課 (TEL2-2502)
- 三方サービス室 (TEL5-9103)

11月24日に行われた「若狭町認知症キャラバン・メイト養成研修」での若狭町社会福祉協議会上中支所長・今川政之さんの講義内容から認知症を考えてみましょう。



講義する今川政之さん

### 生活習慣を変えない

やむをえず目に見えて環境が変わった場合でも、日常的で具体的なことが生活の中で大きな役割を占めている生活習慣はできるだけ変えない。

### 環境を変えない

老化と老化にともなうさまざまな変化に適応して生活しているため、これ以上負担を与えない。

### 人間関係を変えない

老化にともなって人間関係は自然と減少し、社会的関係も少なくなるため、より深く家族や知人、地域の人に関わってもらう。

## 認知症の人を 支えていく

### 7つの原則

### 一人ひとりの関係づくり

共感できる仲間、規範を示してくれる仲間、いざというときに頼れる仲間が必要である。

### 介護をより基本的に

食事、排せつ、入浴といった援助を大事にする。

### 一人ひとりの役割づくり

現在の身体的機能、精神的能力をもって、低下している自己評価を上げ、周りから認められることにより自信を回復する。

### 個性的空間づくり

その人の生活歴、趣味やセンス、固有のにおいがするような空間にする。

## 問題行動の原因となる体調不良として、

便秘、脱水、発熱、慢性疾患の悪化、季節の変わり目（特に冬から春）、薬などが考えられるため、そういうことがあることを十分に理解した上で関わりをもつことが大切です。

# Parea Wakasa パレア若狭

パレア若狭整備係 (TEL 0770-62-2508)

## 4月21日(金) オープニングコンサート

(開場 18:30 開演 19:00)

出演 ピアノ：合川裕代、合唱：美方高校合唱部

演奏：オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーによる弦楽五重奏

曲目 ○さくらさくら(日本古謡、作編曲/山田耕作)、○アイネ・クライネ・ナハトムジーク(モーツァルト)  
○ピアノソナタ第28番変ホ長調作品81a(ベートーヴェン)、  
○ピアノ五重奏曲「まよ」(シューベルト) など

## 4月22日(土) こけら落とし公演

(開場 17:30 開演 18:00)

出演 指揮：飯森範現、ソプラノ：天羽明恵、合唱：パレア若狭音楽ホール記念合唱団

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

曲目 ○「メサイヤ」より「ハレルヤ・コーラス」(ヘンデル)、○大地讃頌(作詞/大木樗夫、作曲/佐藤慶)  
○オンブラ・マイ・フ(ヘンデル)、○アヴェ・マリア(L.S. パッサリ/グノー)  
○交響曲第5番ハ短調「運命」(ベートーヴェン) など

## 4月23日(日) 日本舞踊 若菜流家元公演 (開場 13:30 開演 14:00)

出演 若菜流四世家元・若菜孝史、若菜伊三秀社中

演目 ○清元「四季三葉草」、○長唄「多摩川」、○常盤津「山姥」、○清元「ア能色相図 神田祭」

※上記3つの公演は、未就学児童は入場できません。

## そのほかのイベント

### ■子どものための

詳細は決まり次第  
お知らせします。

#### 読み聞かせア・ラ・カ・ル・ト

日時：4月22日(土)、23日(日)

会場：パレア若狭図書館

内容：本の読み聞かせ、朗読、芝居仕立て朗読、大型紙芝居など

### ■若狭町保育園児画展

日時：4月21日(金)～5月7日(日)

会場：パレア若狭ギャラリー

内容：若狭町の保育園児の画展

### ■子育て講演会

日時：4月23日(日)

会場：パレア若狭研修室

### ■陶芸教室

日時：4月22日(土)

会場：パレア若狭創作スタジオ

内容：縄文土器を焼き物で再現します。



## オープニングイベントチケットは 2月1日(水)9:00 発売

チケットは福社課(パレア若狭整備係)で購入できます。受付時間は、月～金(祝日除く)9時から17時まで。

ただし、事前に予約いただきますと「三方庁舎サービス室」でもチケットを受け取ることができます。予約時には名前、住所、電話番号、希望する公演名、枚数、受け取り希望場所をお知らせください。

※電話・FAX・E-mailで予約ができます。

TEL0770-62-2508 FAX0770-62-2577

E-mail: parea@town.fukui-wakasa.lg.jp

チケット代：一般2,000円 学生1,000円(全席指定)  
21日～22日共通券：一般5,000円 学生2,500円

チケット代：一般4,000円 学生2,000円(全席指定)  
21日～22日共通券：一般5,000円 学生2,500円

チケット代：一般2,000円 学生1,000円(全席自由)

## 子どもたちに一番読み聞かせたい本を募集します

パレア若狭図書館ではオープニングイベントとして、プロによる本の読み聞かせイベントを行います。そこで、当日子どもたちにぜひ読み聞かせてほしい本を募集します。応募作品の中から数点採用させていただきます。

■応募方法 書名、住所、氏名、電話番号を明記し、ハガキ、FAX、E-mailで応募してください

■締め切り 2月20日(月)

■応募先 TEL0770-62-2508 FAX0770-62-2577

E-mail: parea@town.fukui-wakasa.lg.jp

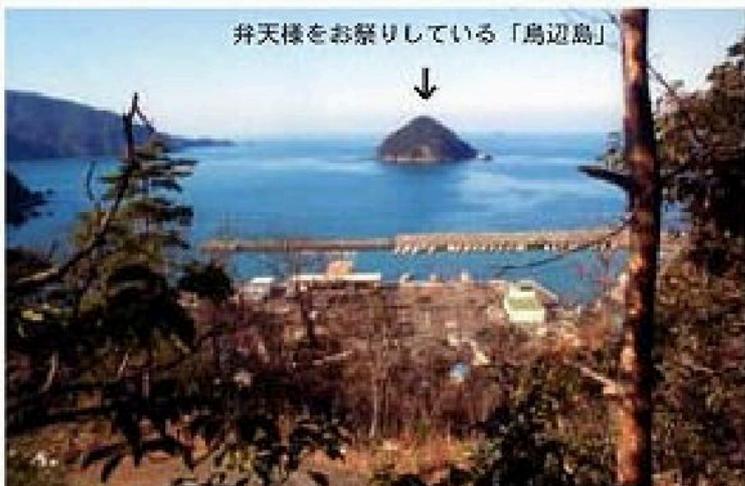
## ■親子陶芸教室

日時：4月22日(土)

会場：パレア若狭創作スタジオ

内容：三万五湖をイメージした生き物などの焼き物を作ります。

弁天様をお祭りしている「鳥辺島」



## 世久見・せくみ

人口 143 人

世帯数 32 世帯

世久見トンネルを抜けると、目の前に大きな島が見えてきます。その島は「鳥辺島」といい、弁天様が祭られています。毎年7月14日のお祭りでは、前日の夕方、船に乗って笛太鼓ではやしながら島を1周します。翌14日には新しい砂利を持って村の人がお参りします。

## 無悪・さかなし

人口 153 人

世帯数 40 世帯

難読地名の横綱級といわれる無悪は、若狭トンネル西側口を中心に3つに分かれています。国指定重要文化財の「木造聖観世音菩薩立像」をはじめ、歴史的な古さをしのぼせてくれる指定文化財が数多くあり、区民の誇りとなっています。



←木造聖観世音菩薩立像



「無悪ふれあい公園」の西側土手にサツキツツジで作られた「サカナシ」の4文字



朝倉寺



## 山内・やまうち

人口 191 人

世帯数 42 世帯

今から530年前、蓮如上人をお招きして浄土真宗に改宗しました。その御教えが脈々と残り伝えられ土徳がしみ込んで、独立心が強く、およそ半数の家が職人や自営業の集落です。

## 天徳寺・てんとくじ

人口 288 人

世帯数 87 世帯

天徳寺境内を谷間に沿って少し山に入った所に大きな岩があり、その2つの岩の間から湧き出ている清泉があります。その清泉が名水百選で有名な「瓜割の滝」です。瓜が割れるほど冷たい水なので、瓜割と名づけられたそうです。今ではいろいろなところから多くの方が、この名水を求めて天徳寺を訪れています。



「瓜割の滝」雪景色

冬季でも多くの方が名水をくみに来られています。



新しいまちを知ろう

※集落からいただ作成しています。  
成 18年1月1日

## 若狭町全図



### 田名・たな

人口 73 人

世帯数 23 世帯

田名では、夏のフジオ体操終了時に子どもたちがお寺で読経したり、講箱に膳を入れお寺へ持ち寄り読経後に食事をする「お講」、元旦に個人宅をお参りする「親せき参り」、「ななの雪回い」など、古い伝統が受け継がれています。お祭と神棚がないことで全国的に有名です。



夏の雪回い



白山宮



集落センターを新築し、「ふれあい会館」に改名しました



祭りでの子どもみこし

町内では珍しい3階建ての集落センター



### 相田・あいだ

人口 340 人

世帯数 98 世帯

町内でも珍しい鉄筋コンクリート3階建ての集落センターを有する区です。昭和26年に完成し、集会や春の大祭など各種行事開催の場として広く利用されてきました。集落の遊遊場所に指定されていて、昨年スロープを設置し、さらに利用しやすくなりました。

### 岩屋・いわや

人口 338 人

世帯数 87 世帯

岩屋区は、十村駅の西南に位置し、春には桜のライトアップ、夏から秋にかけては特産の観光梨園が開園され、元気な村づくりに動んでいます。また、円成寺には県指定天然記念物の「みかえりの松」があり、大切に守り育てています。

4月中旬ごろに咲くナシの花



円成寺にある「みかえりの松」→



### 上野・うえの

人口 146 人

世帯数 41 世帯

みそみ 尊照寺の鐘つき堂→



高台から見た集落風景



若狭町のほぼ真ん中に位置し、「みそみ小学校」や「三方B&G海洋センター（体育館やプールがある）」などの公共施設があります。一方、高台からは、はるか三方地区まで見渡せる絶景のスポットがあり、深山からの豊かな水に育まれたおいしいお米が自慢です。

# 集落・自治会を紹介

いた原稿をもとに人口・世帯数は現在のものです。

# 健康カレンダー 2月

健康課（パレア若狭）（TEL 0770-62-2503）

三方保健センター（TEL 0770-45-1563）

## 子どもカレンダー

※予防接種と各種教室は、どちらの会場でも受けられますのでご相談ください。

実施日	行事名	受付時間
2日(木)	げんキッズ活動日(※①)	10:00～
3日(金)	妊婦教室	9:45～10:00
	2か月児マザー教室	9:45～10:00
14日(火)	離乳食教室(前期・完了期)	9:30
15日(水)	1歳6か月児健診	13:00～14:00
16日(木)	げんキッズ活動日(※①)	10:00～
	BCG予防接種	13:30～14:00
22日(水)	4か月児健診	13:00～13:30
	10か月児健診(離乳食教室)	13:30～14:00
毎日	子育て広場	キッズルーム開放

場所：パレア若狭

実施日	行事名	受付時間
16日(木)	4か月児健診	13:15～13:30
	10か月児健診(離乳食教室)	13:15
24日(金)	7か月児育児教室	9:30

場所：三方保健センター



## 子育て支援センター



◇わかば保育園(9:00～)

7日 おはなし こんごちほ

14日 いきいき広場

21日 おちゃん こんごちほ

28日 いきいき広場



◇すくすく学校

(9:30～12:00)

1日 三方保健センター

15日 三方児童館



## 成人カレンダー

実施日	行事名	場所	受付時間
13日(月)	バランスボール教室(※②)	JAわかさ三宅基幹支店	13:30～
21日(火)	こころの相談日	パレア若狭	13:30～15:00
27日(月)	バランスボール教室(※②)	JAわかさ三宅基幹支店	13:30～

※①…子育てサークル「げんキッズ」の活動日です。問い合わせは健康課（パレア若狭）へ（TEL 0770-62-2503）

※②…バランスボールサークル「にこやか会」の活動日です。問い合わせは健康課（パレア若狭）へ

## 子育て支援センターは地域の子育ての輪を広げる**応援団**です

### 「子育て支援センター（わかば保育園）」のご案内

毎日の子育ての中では、楽しいときもあれば、不安になったりイライラして思わず子どもにあたってしまったり…頑張ってもどうしようもないこともあります。そんなときは、いつでもお気軽にご相談ください。

#### ●問い合わせ・相談先

子育て支援センター（わかば保育園）

TEL 0770-62-1420

#### 🐣 育児相談

平日いつでも「子育て支援センター（わかば保育園）」にお越しください。電話相談も受け付けています。

#### 🐣 子育てさろん・とことらんど

子育てについての話を聞いたり、お散歩や親子体操など親子で一緒に楽しめます。

（毎月第1・3火曜日開催）

#### 🐣 いきいき広場

園児やお母さん同士の交流の場です。

（毎月第2・4火曜日開催）

このコーナーでは、その月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。

今回は平成15年2月生まれの3歳になるお子さまです。

HAPPY  
BIRTH DAY

3歳

で～す



渡辺 乃愛ちゃん

2月10日生まれ(成出)  
親:治郎・真理子さん  
野球大好き！友達といっぱい遊びたいな！

天渡 乃愛ちゃん

2月20日生まれ(井筒)  
親:麗王・美紀さん  
私 グリエ☆ 似てる？将来紅白に出る予定よ。ペコリ☆



◇「3歳で～す」応募方法◇

今回は平成15年3月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメントを添えて、企画情報課または上中サービス室にお持ちください。(E-mailでの送付も可。)2月8日(水)必着。  
※対象となるお子さまに直接の募集案内はしてありません。この紙面上で募集案内をさせていただきますのでご了承ください。

●問い合わせ

企画情報課 (TEL 0770-45-9110)  
E-mail: kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp  
(E-mailでの送付の場合は受信確認のため、必ずお電話ください。)

1月23日(月)から27日(金)は **全国学校給食週間**

給食について考え、食材を作る農家の人や調理員さんなどに感謝する週間です

学校給食週間は、いつも何気なく食べている給食について考え、児童や生徒が給食を食べるまでに関わる人たちに感謝の気持ちを持っていただく週間です。週間中は特別な献立が用意されますので、子どもたちは楽しみにしています。

三方地域では

三方給食センターで給食を作っています。

週間中は、若狭町が誕生して1年目なので、町の特産物などを使った特別な献立が出ます。

◇1月24日(火) こんにゃくのから揚げ

熊川の特産物「こんにゃく」を使ったから揚げです。生のこんにゃく芋から作られたこんにゃくなので、プリプリとした食感が楽しめます。

◇1月25日(水) うなぎの柳川汁

三方地域の特産物といえば「うなぎ」です。うなぎのかば焼きもおいしいですが、鰻やゴボウと一緒に作る柳川汁もおいしいです。

◇1月26日(木) 鰻川汁

熊川では「鰻」が有名です。いつもは片栗粉でとろみをつけますが、今回は高級な「本鰻」を使います。

上中地域では

各学校で給食を作っています。週間中は、栄養士が提案した献立を中心に、それぞれの学校で作ります。

例えば伝承料理の「焼き鯛寿司」や梅干しを使った「梅肉あえ」、地元産の野菜を使った「おごん」や「みそ汁」などです。ほかにも子どもたちに人気のあった献立を用意する「リクエスト献立」や、事前に子どもたちが数種類の献立から選ぶ「選択給食」などが用意されます。

いつもと違う献立をお楽しみに



# 和

～なごやかに～

若狭町長 千田千代和

## 「大雪から培われるもの」

昨年末から大雪に見舞われた。特に12月としては異常とも思われる降雪量だった。気象庁の長期予報では今年も「暖冬」と予想されていたため、近年の暖冬に慣れた社会に強烈なパンチをくらったように思う。

新聞やテレビの報道で、他県では今までの記録にない4メートル近い積雪量や、雪害による全国の死亡者が95名(1月16日現在)だと聞いた。心を痛めると同時に、当町では大きな被害が出ていないことに感謝している。

除雪を担当する建設課を中心に、毎年秋に町道221.5キロメートルの除雪計画が立てられ、議会や区長会に説明される。大雪情報で、班編成された職員が待機態勢に入り、降雪の状況により深夜0時ごろから町内各方面の積雪状況確認に出る。各データを集め除雪出動の路線を決めた上で、午前2

時ごろからそれぞれの業者へ除雪を依頼する。その後、皆さんの通勤通学に間に合うよう厳寒の中で雪との戦いが始まる。

町内除雪路線全線の出動で、1回あたり約400万円の経費がかかり、この冬は4,700万円(1月16日現在)を超えている。雪が解けても産物はゼロ、反対に標識やガードレールなどの破損や道路の損傷が残される。

しかしマイナス面だけではなく、豊富な雪解け水は春から夏にかけて、里の人々や田畑に水の潤いを与えてくれる。この自然のサイクルは今も昔も変わらないが、変わったのは人間の心である。少し雪が降ると「除雪はまだなのか」、除雪後は「あの除雪のやり方は何だ」「押してきた雪で家の入り口をふさぐとは何だ」、さらには「入り口を閉けに来い」「畑に雪を押しな」「この除雪では自転車を通れない」などの不満の電話がある。

車社会の世の中だけに当たり前かもしれない。しかし、厳寒

の深夜に数多くの除雪作業員や関係の皆さんが一生懸命雪に携わってくれる気持ちに、感謝の心が感じられないのが寂しい。

昭和38年、56年、59年の豪雪時には町でも約2メートルの積雪があった。現代のように機動力もなく、朝早く起きて割り当てられた道路をスコップで除雪した。間に合わないときは雪踏みをして通勤者や学童の歩く道を確保した。学校や病院など公共施設の屋根雪下ろしにはボランティアで手伝い、地域一体となった町民総参加の除雪を行うなど、住民が一丸となって苦勞していた。これが当たり前の人間社会だった時代をうらやましく思う。

自分本位の今日の社会情勢だが、こうした大雪や除雪を機会にお互いに痛みのわかる共存共栄の社会に少しでも理解いただきたい。そして、多額の除雪費が心豊かな人間性を培ってくれることに繋がると期待したい。

## 広報クイズ

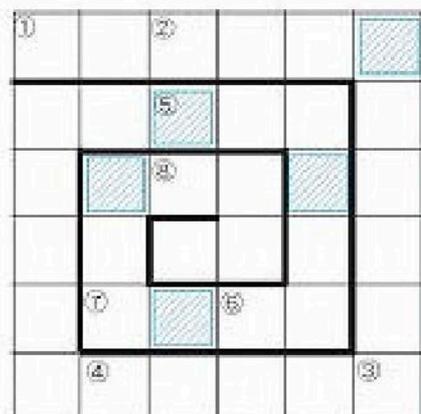
### しりとりのうずまきクイズ

■応募方法■ キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つある青いマスのある文字を並びかえると、答えになります。

ハガキに答えと広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて「〒919-1393 若狭町役場企画情報課」(住所は省略できます)まで送ってください。正解者の中から抽選で10人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りは2月15日(水)必着です。

### ◇キーワード◇

- ①儀礼用の絹布で、物を包んだり運物の上に掛けたりするのに用いる小さなふるしき。
- ②「となりのトトロ」で主人公が暮らす家。「愛・地球博」会場内で再現されました。
- ③  このマークの名称は、
- ④釣った魚を入れたり、飲食物を携帯するときに使います。
- ⑤ケーキの土台。生クリームやイチゴを乗せたりします。
- ⑥アテネオリンピックで有名になったかけ声。「○○○だ!」「○○○だ!」「○○○だ!」。
- ⑦胃の中を撮影するための医療器具。
- ⑧競争相手、対抗者。



ヒント：誕生石のひとつ

### こたえ

『○○○○○』

広報クイズ1月号の答え「ハゴイタ」 ①ハツモウデ ②デゾメシキ ③キクバリ ④リュウコウゴ ⑤ゴルフ ⑥ファイト ⑦トサカ ⑧カズノコ ⑨コウハクウダガッセン